

小山市事務事業評価シート

令和元年度版

No. 51

1. 基本情報				
<1> 事業・業務名	119番通報訓練業務		<2> 事業・業務の別	業務
<3> 選定基準	② 平成30年度に事業内容(対象・手段等)を見直した事務事業		<4> 継続評価 新規評価の別	継続評価
<5> 総合計画基本計画での体系	大項目	5 災害に強く 快適で住みよい 夢を支えるまちづくり	<6> 担当部(局)	消防本部
	中項目	5-1 災害に強く安全安心なまち	<7> 担当所属	通信指令課
	小項目	5-1-2 消防・救急	<8> 担当係等	第2係
	施策	防火思想の普及啓発		
<9> 根拠法令・計画等	消防法		<10> 関連・類似事業	
<11> 会計	会計	<12> 予算科目	款 項 目	
<13> 実施期間	年度 ~ 年度	<14> 全体事業費	千円	
<15> 実施手法	直営 「その他」の場合 ()			

2. Do - 実施 -

<16> 事業・業務の概要	誰でもスムーズな119番通報ができるよう、より多くの市町民に119番通報の体験をしてもらうもの。								
目的	<17> 事業・業務の目的	正確かつ迅速に119番通報ができるよう、訓練装置での通報を体験してもらい、火災、災害、救急等の現場に消防隊等がより早く到着できるようにする。							
	<18> 事業・業務の対象	小山市、野木町に在住もしくは勤務する方。							
手段	<19> 平成30年度の活動内容	各種イベント、庁舎見学、出前講座等の機会を捉え、市町民に119番通報を体験してもらった。							
	<20> 活動指標 (活動した量や実績)	指標名	単位	平成29年度		平成30年度		達成率(%)	
		実施回数	回	計画	実績	計画	実績		
成果	<21> 事業・業務の成果	119番通報の体験をすることで、通報時の不安を解消することができ、有事の際、落ち着いた的確な通報が可能となる。							
成果	<22> 成果指標 (活動の成果の量や実績)	指標名	単位	平成29年度		平成30年度		達成率(%)	
		体験者数	人	計画	実績	計画	実績		
資源	<23> 投入指標 (投入するお金の量)	コスト実績		単位	平成29年度		平成30年度		投入率(%)
				千円	計画	実績	計画	実績	
		事業費等		千円	0	0	0	0	
		財源内訳	国・県補助金	千円					
			地方債	千円					
			その他	千円					
人件費		千円	450	144	450	215	47.8%		
正職員	千円 × 人役	7,195 × 0.0629	7,195 × 0.02	7,146 × 0.0629	7,146 × 0.03				
他の職員		×	×	×	×				

3. Check - 評価 -

実績評価	妥当性	<24> 事務事業を実施する目的や対象は妥当か?	1.妥当である
		<25> 事務事業を実施する手段や実施手法は妥当か?	1.妥当である
		<26> 事務事業の実施に対する市民ニーズはあるか?	2.変わらずにある
	有効性	<27> 今後も市が実施する事務事業として妥当か?	1.妥当である
		<28> 事務事業の成果の向上の余地はあるか?	1.向上の余地はある
	効率性	<29> (総合計画基本計画)施策への貢献度は大きいか?	2.中位
<30> 事務事業の効率の向上の余地はあるか?		1.向上の余地はある	
公平性	<31> 民間への外部化(民営化・業務委託等)は可能か?	3.不可能である	
	<32> 受益者負担の水準は妥当だと考えられるか?	1.妥当である	
<33> 総合評価 (事業全体の改善の余地)	2.改善の余地はある	理由	より多くの市町民に119番通報の体験をしてもらうため、出向するイベントや講習会を増やす。また、出前講座「できますか?119番通報」を活用し、自治会や事業所等で実施できるようにPRする。

4. Action - 改善 -

事業の改善	<34> 事業の課題 事業の改善点 今後の方針	イベントや講習会等の実施回数及び、119番通報訓練装置で体験できる人数には限りがあるため、体験できなかった方に対して、アンケート等を活用して、体験者同様に119番通報に対する理解度や認知度を向上できるよう支援を行い、限られた回数でもより多くの体験者(理解者)を増やせるよう進めていく必要がある。		
	<35> 1次評価	所属長	3.現状維持	理由 災害現場からの119番通報は、誰もが経験するものではないため、気が動転するなどして内容の聴取が困難なこともある。そのため、より多くの市町民に通報体験をしてもらい、実際に119番通報する状況に直面したときに、落ち着いて確実に通報できるよう啓発することは、継続していく必要があると考える。
事業の方向性	<36> 2次評価	所管部長	3.現状維持	理由 市町民の119番通報に対する不安を少しでも取り除き、的確な通報ができるよう啓発することで、安全安心なまちづくりに貢献するものと考えている。また、市町民への通報体験の指導を通じ、職員の聴取能力の向上にも寄与しているため、継続実施すべきと考える。

5 Plan - 計画 -

<37> 実施計画	令和元年度以降も、119番通報の体験を一人でも多くの市町民に行ってもらい、119番通報の重要性や通報内容について理解してもらおう。また、そのためのイベント、講習会等の抽出や効果的な体験方法等について検討していく。				
<38> 活動・成果目標	誰でもためらわずに119番通報することで、消防隊等のスムーズな活動につながり、火災や災害による被害を軽減する。また、救命率の向上を目指す。	<39> コスト計画	単位	令和元年度	令和2年度
			千円	計画	計画
		事業費等	千円	215	215
		人件費	千円	215	215